

障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定にかかる 相談支援事業所インタビュー調査票

－ はじめに －

このインタビュー調査票は、芦屋市障がい福祉計画・芦屋市障がい児福祉計画策定にあたって、障がいのある人を取り巻く現状や課題、今後の方向性などに関する意向などをご記入いただくことで、計画策定の基礎資料とさせていただきます。ご回答いただいた内容は、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用いたします。個別の回答内容を公表したり、別の目的で回答内容を使うことは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご協力をお願いします。

令和5年6月 芦屋市

－ ご記入にあたって －

- それぞれ該当する項目をご記入ください。
- 調査票の留意事項に基づいてご回答ください。
- 付属資料として既存の資料がある場合、添付してください。
- 本調査票は Word で作成しています。Word ファイルに入力していただきメールにて返信していただくか、Word ファイルを印刷して記入し、FAXにて送信してください。
- ご回答は、**6月00日(○)まで**に芦屋市こども福祉部福祉室障がい福祉課へご提出ください。

－ 【この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします】 －

芦屋市 こども福祉部 福祉室 障がい福祉課
TEL : (0797) 38-2043 / FAX : (0797) 38-2160

■ はじめに貴事業所のプロフィールを教えてください。

事業所名	
調査票記入者名	

サービス提供の職員についてお伺いします。

問1 相談支援に携わる職員数（管理のみの方は除く）についておたずねします。

(1) 職員数をご記入ください。

正職員	正職員以外（非常勤職員、パート職員等）
人（うち兼務 人）	人

(2) また、職員の方の、障害福祉業務に関わった経験年数別人数をご記入ください。

1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上
人	人	人	人	人

問2 相談支援事業として、現在の職員の過不足状況はいかがでしょう。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 大変不足している 2. やや不足している 3. 適当である 4. 過剰である

1. または2. を選択された事業所におたずねします。その要因は何でしょうか。

1. 相談件数が増えているため
2. 件数自体は特段多くないが、一件あたりの時間がかかる相談が増えているため
3. 件数も内容もそれほど変わっていないが、サービス等利用計画の作成に時間をとられるため
4. 離職する人が多いため
5. 人数は足りているが、対応のスキルが十分ではない人もいるため
6. その他

()

問3 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の期間中（令和3年度～5年度）、相談支援事業として、目標どおりの運用が出来たでしょうか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 当初の見込み通り（それ以上）できた 2. 当初の見込み通り達成できなかった



2. を選択された事業所におたずねします。達成できなかった要因は何でしょうか。

問4 職員の定着・育成のために行っている取り組みについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 資格取得のための金銭的な支援
2. 資格取得のための休暇取得の支援
3. 外部の研修への金銭的な参加支援
4. 外部の研修への休暇取得の支援
5. 勤務条件（勤務時間帯など）の改善
6. 給与面での改善（ベースアップ、各種手当など）
7. 昇給・昇格、勤務評価などを明確にした人事制度の導入
8. 福利厚生面での改善（有給休暇の取得向上、育休制度の充実など）
9. 法人内での職員研修機会の充実
10. 職員間の交流や意思疎通などの改善（風通しのよい職場づくり）
11. 職場環境の改善等への職員意見の取り入れ
12. 職員のメンタルケアなどの充実
13. その他

()

問5 職員の確保や定着・育成について、課題を感じること、支援を望まれていることがあればご記入ください。

1. ある 2. 特にない



相談支援の状況等についてお伺いします。

問6 相談件数と内容についておたずねします。

(1) 昨年度1年間の相談件数（実件数）をご記入ください。

身体障がい	知的障がい	精神障がい	重症心身障がい児・者
件	件	件	件

※重症心身障がい児・者以外で重複の場合は主たる障がいでお答えください。

(2) 昨年度1年間の相談件数のうち、次のような障がいが主な方の相談は何件（実件数）ありますか。

発達障がい	件
高次脳機能障がい	件
遷延性意識障がい	件
難病	件
若年性認知症	件

(3) 昨年度1年間の相談件数について、相談内容の内訳をご記入ください。

福祉サービスの利用に関すること	件
障がいや病状の理解に関すること	件
健康・医療に関すること	件
不安の解消・情緒安定に関すること	件
保育・教育に関すること	件
家族関係・人間関係に関すること	件
家計・経済に関すること	件
生活技術に関すること	件
就労に関すること	件
社会参加・余暇活動に関すること	件
権利擁護に関すること	件
地域生活への移行に関すること	件
その他（ ）	件

問7 これまで相談支援事業をされてきた中で、よく寄せられる相談内容（課題）についてご記入ください

問8 サービス等利用計画の作成についてお尋ねします。

(1) 昨年度1年間におけるサービス等利用計画の作成件数(実件数)をご記入ください。

件

(2) サービス等利用計画の作成件数を伸ばすためには何が必要と考えますか。

問9 市内の相談支援事業所間(基幹も含む)やサービス提供事業者、障害以外の支援機関などとの連携についてお伺いします。

(1) 情報共有や相互に協力をするなどの連携はできていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 連携できている 2. 連携しているが課題がある 3. 連携することはほとんどない

(2) 連携できている場合、連携できている主な機関を記載ください。

(3) 2. と 3. に回答された方にお伺いします。連携が難しい機関とその理由について具体的にご記入ください

【連携が難しい機関名】

【連携しない理由】

問10 新型コロナウイルス感染症に伴い、相談内容に変化はありましたか。あった場合は、特徴的な相談などがありましたら、具体的にご記入ください。

問 1 1 業務負担軽減のために、ICT化など何か取り組んでいることはありますか。

問 1 2 令和6年4月より合理的配慮の提供が義務化されますが、義務化に向けて何か特徴的な取り組みをしていることはありますか。

問 1 3 相談内容に対応していく上で、今後市に支援をしてもらいたいことやその方法について、お考えをご記入ください。

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。